

サム・ペキンパー

Sam Peckinpah

生年月日 1925/02/21

出身地 アメリカ／カリフォルニア州フレズノ

没年 1984/12/28

関連人物 サム・ペキンパー・プロ

【バイオグラフィ】

■本名はDavid Samuel Peckinpah。第二次世界大戦で海兵隊として従軍した後、舞台演出を学ぶ。だが、舞台演出家としては芽が出ず、テレビ局に裏方として出入りするようになり、ドン・シーゲル監督と知り合う。それが縁で56年の「ボディ・スナッチャー／恐怖の町」の脚本などを手掛け、61年の「荒野のガンマン」で監督デビュー。64年の「ダンディー少佐」でプロデューサーと衝突、トラブル・メイカーとして映画界から一時干されるが、69年の「ワイルドバンチ」で返り咲いた。この作品の強烈なバイオレンス描写とスローモーション撮影が話題となり、ペキンパーのトレードマークとなって以後、「ゲッタウェイ」、「ビリー・ザ・キッド／21才の生涯」、「ガルシアの首」、「戦争のはらわた」と男臭い作品を輩出した。84年に脳卒中でこの世を去った。

【フィルモグラフィ】

わらの犬 (2011)	オリジナル脚本
ワイルドバンチ アルバム・イン・モンタージュ (1997)	出演
バイオレント・サタデー (1983)	監督
ザ・ビジター (1979)	出演
コンボイ (1978)	監督
戦争のはらわた (1977)	監督
キラール・エリート (1975)	監督
ガルシアの首 (1974)	監督, 原案, 脚本
ビリー・ザ・キッド／21才の生涯 (1973)	監督
ゲッタウェイ (1972)	監督
ジュニア・ボナー／華麗なる挑戦 (1972)	監督
わらの犬 (1971)	監督, 脚本
砂漠の流れ者 (1970)	監督, 製作総指揮
ワイルドバンチ／オリジナル・ディレクターズ・カット (1969)	監督, 脚本
ワイルドバンチ (1969)	監督, 脚本
戦うパンチョ・ピラ (1968)	脚本
栄光の野郎ども (1965)	脚本
ダンディー少佐 (1965)	監督, 脚本
昼下りの決斗 (1962)	監督, 脚本
荒野のガンマン (1961)	監督
遙かなる西部 (1960)	監督, 製作, 原案
ライフルマン (1958)	監督
ボディ・スナッチャー／恐怖の街 (1956)	脚本, 出演